

研究協力機関で腎癌からの転移性脳腫瘍に対してガンマナイフ治療を行った患者さんにおいて診療情報を用いた後ろ向き観察研究に対するご協力をお願い

研究責任者

所属 衛生学公衆衛生学教室 職名 准教授

氏名 佐藤泰憲

連絡先電話番号 03-5363-3662

実務責任者 所属 医学研究科 職名 大学院生

氏名 奥野玲奈

連絡先電話番号 03-5363-3662

このたび当院では、上記に該当される患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また診療情報は匿名化されており、患者さんのプライバシーについては保護される予定です。本研究への協力を望まない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

#### 1 対象となる方

西暦 1996 年 4 月 1 日より 2020 年 12 月 31 日までの間に、腎癌からの脳転移に対して研究協力機関の脳神経外科においてガンマナイフによる定位放射線治療を行った方

#### 2 研究課題名

ガンマナイフ治療を行った腎癌からの転移性脳腫瘍例のデータベースを基にした臨床統計学的検討:後方視的多施設協同研究(承認番号:20210085)

#### 3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部衛生学・公衆衛生学教室 および下記の研究協力機関

既存試料・情報の提供機関;勝田病院水戸ガンマハウス、築地神経科クリニック、千葉県循環器病センター、相澤病院、横浜労災病院、大阪市立総合医療センター、洛西シミズ病院、古川星陵病院、厚地脳神経外科病院、太田記念病院、藤元総合病院、NTT東日本関東病院

#### 4 本研究の意義、目的、方法

本研究では、研究協力施設で腎癌からの脳転移に対して脳神経外科でガンマナイフによる定位放射線治療を行った患者さんを対象に、診療記録を用いて調査をさせていただきます。腎癌において脳転移は10%ほどの患者さんで起こることが知られており、ガンマナイフによって良好に制御されることが知られています。脳転移を制御することは患者さんの予後を改善する上でとても重要です。本研究ではどのような患者さんの状態が手術後の予後と関係しているのかを研究するために、診療記録からデータを集める後ろ向き観察研究を実施いたします。

## 5 協力をお願いする内容

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。当該手術に関連する診療記録の閲覧をさせていただきます。

## 6 本研究の実施機関

研究実施許可日～2030年3月31日

## 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究では患者さんの個人情報は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、研究協力機関において個人情報をすべて削除し連結不可能匿名化を実施し、第3者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。

## 8 お問い合わせ 本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より、診療情報の提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

研究責任者 佐藤 泰憲

職名 慶應義塾大学医学部 衛生学・公衆衛生学 准教授

住所 東京都新宿区信濃町 35 衛生学・公衆衛生学研究室

電話番号 03-5363-3662(内線 61132)